

1 単元 「日本の開国と岩瀬忠震」

2 単元の目標

- (1) 郷土の偉人である岩瀬忠震の活躍を知り，幕末の歴史について意欲的に調べたり考えたりしようとする。（意欲・関心）
- (2) 激動の時代における人々の生きざまに触れ，広い視野をもち，確かな考えをもって生きていくことの大切さに気付く。（思考・判断）
- (3) 開国の影響とその後の幕府政治の推移について，考察した結果をまとめて，発表することができる。（技能・表現）
- (4) 開国の過程と不平等条約の内容を理解することができる。（知識・理解）

3 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	条約の内容や開国による影響に関心をもち，意欲的に追究している。
社会的な思考・判断	開国によって，日本が資本主義社会へ組み込まれていったことを考察している。
資料活用の技能・表現	開国の影響を追究し，考察した過程や結果をまとめたり，説明したりしている。
社会的事象への知識・理解	開国から幕府滅亡までの経過のあらましを理解している。

4 指導計画（7時間完了）

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準
1	ペリー来航で混乱する幕府の様子を調べよう。 愛知エースネットで調べよう 岩瀬忠震	ペリー来航の目的と幕府が朝廷や諸大名に意見を求めた点に着目させたい。 郷土の偉人を通して，歴史の動きを探ることで，興味をもたせる。 次時に設楽原資料館を訪問することを伝え，館長への質問事項を考えさせる。	アメリカの要求に対して，日本が開国の方向で動いていった過程を理解する。【知】

2	幕末の外交官，岩瀬忠震の考えや思いを知ろう。	愛知エースネットで調べた問い合わせ先である設楽原資料館を見学し，岩瀬の業績を調査させる。また，館長から聞き取り調査をさせる。	岩瀬忠震の条約調印における役割を知り，条約調印までの経過について意欲的に調べようとしている。【関】
3	条約を調印した岩瀬の行動をどう考えるか。	不平等条約調印の是非をそれぞれの立場から根拠をもって発表させる。 様々な視点からの意見を出させ，多面的な視点からとらえさせる。	開国によって，日本が資本主義社会へ組み込まれていったことを考察している。【思】
4 5	条約調印後の日本と岩瀬の運命を知ろう。	当時の複雑な政治情勢として，開国派と鎖国派との対立や将軍の後継問題，倒幕派と佐幕派等の対立関係に着目させるとともに国内経済にもたらされた影響をとらえさせたい。 安政の大獄時に免職させられた岩瀬の生涯について自分なりの意見をもたせたい。	開国の経済的影響を，金貨の流出の様子や輸出入の割合，物価の上昇等の資料から読み取ることができる。【資】
6 7	幕末から明治初期の郷土の様子について調べてみよう。 愛知エースネットで調べよう 例：大給恒 渡辺華山 福谷啓吉 等	愛知エースネットコンテンツ「愛知の郷土史，偉人，祭り・伝統産業」を利用して，調べ方の確認をさせる。 郷土史を学習するなかで，日本全体の歴史とのかかわりが密接にあることを実感させたい。	「愛知の郷土史，偉人，祭り・伝統産業」を利用して，調べ学習をする方法を理解している。【資】